

武家政権成立期の 東国武士の心性

「貴種」頼朝と千葉一族

講演2

「貴種再興」の時の千葉氏

講師：金玄耿氏（東京国立博物館 アンシエイトフェロー）

講演1

国分胤通にみる鎌倉武士の在り方

（香取社領・大戸庄の在地領主として）

講師：外山信司（千葉市立郷土博物館 総括主任研究員）

2021年 **6月26日** 土

参加
無料

開催時間 13:30～16:30

開催場所 千葉県文化会館小ホール

（千葉市中央区市場町11-2）

募集人数 80名（応募多数の場合は抽選）

申込期間 2021年5月25日（火）～2021年6月11日（金）



千葉氏
ポータルサイト HP

〇問い合わせ先 千葉市立郷土博物館 Tel. 043-222-8231

kyodo.EDL@city.chiba.lg.jp

千葉氏ポータルサイト 公開市民講座

検索

武家政権成立期の東国武士の心性

「貴種」頼朝と千葉一族

今回の講座では、武家政権成立期の東国武士の心性に焦点を当てます。

千葉氏をはじめとした当時の東国武士たちは、反平家の兵を挙げても敗れて房総に逃れてきた、源氏の嫡流としての源頼朝を武家の棟梁として受け入れつつも、時には既存の宗教的・政治的権威と衝突しながら在地領主として着実に成長していきました。

これらの事実の背景にある東国武士の「心性」をとおして当時の武士の在り方について考えていきます。

本講座が、千葉開府900年に向け、千葉氏をはじめとした当時の東国武士への理解を深める機会となれば幸いです。



講演1

国分胤通にみる鎌倉武士の在り方

～香取社領・大戸庄の在地領主として～

講師：外山信司(千葉市立郷土博物館 総括主任研究員)

千葉常胤の五男、国分胤通は香取社領(香取神宮の神領)や摂関家領大戸庄の地頭となりました。そして武力と地頭職を背景に、宗教的・政治的権威を顧みず、様々な軋轢をひき起こしながら在地領主として成長していきます。国分胤通をとおして鎌倉幕府成立期の武士の在り方を考えます。

講演2

「貴種再興」の時の千葉氏

講師：金玄耿氏(東京国立博物館 アソシエイトフェロー)

1180年、源頼朝が挙兵した時、三浦義明が「われは源家累代の家人で、幸いにその貴種再興のときと逢った」と述べたことが鎌倉時代末期の歴史書『吾妻鏡』に書かれています。ここでいう「貴種」は何を意味するのでしょうか。そもそも、当時「貴種」と呼ばれるような武士は存在していたのでしょうか。「貴種」というキーワードで、千葉氏や三浦氏などの武士たちが頼朝の存在をいかにして受け入れたか、内乱当時の武士社会の様相を考えます。

申込方法

電子申請または往復はがきでお申し込みください。6月11日(金)必着。

往復ハガキの申込では、往信用ハガキに講座名、住所、氏名(ふりがな)、

電話番号、年齢、返信用ハガキに返信用の宛先を必ずご記入ください。

(往復ハガキでの申込先)

〒260-0856

千葉市中央区亥鼻1-6-1 郷土博物館



千葉市電子申請
サービス HP

